

一般質問

3. 食のしあわせプロジェクトについて

【食のしあわせプロジェクト】とは、ふるさと納税を活用し、学校・園の給食の地産地消の推進及び食材費の負担軽減、環境負荷低減の栽培技術の普及、子どもたちや保護者への食育の推進、こども食堂の開催などに取り組むことで、瀬戸内市の豊かな農産物を活かした「食の大切さ」を起点として、子どもたちの郷土愛の醸成と、農業や漁業の振興、地域経済の循環を目指すものです。

◆食のしあわせプロジェクト運営資金

クラウドファンディングからの事業資金	3196.6万円			
小中学校・幼稚園の給食食材支援	1644.4万円	←	中間団体の野菜	約320万円
保育園・こども園の給食食材支援	583.0万円		中間団体以外の野菜	約220万円
給食献立表カラー印刷製本費	199.6万円		フルーツ	約90万円
子ども食堂の食材支援	118.0万円		肉等	約770万円
環境負荷低減農業推進支援	100.0万円		お菓子類	約250万円
フォーラム開催	208.6万円		合計	約1650万円
食のしあわせ推進委員雇用	343.0万円			
合計	3196.6万円			

まず私の一般質問でのやりとりを紹介します。

私：瀬戸内市は、1億円のふるさと納税を集め、学校園の給食の地産地消の推進、食材費の負担軽減に取り組めます。令和5年度の事業費は約3千万円で、それ以外に木徳神糧様より、米1年分も頂きました。給食費は下がるのか。

副市長：下がる。物価高騰分に充て、高級な質の高い食材がでるようになる。

私：本市の給食はもともと質の高い美味しい給食で、高い肉が出るより少しでも給食費が安くなることを保護者は望んでいるのでは。

副市長：お腹が満たされるだけの給食ではなく、美味しいものを食べて幸せになってもらいたい。

くさかとしこの主張

高い高価なものが食べれるなんて馬鹿なことを言わず、100円でも給食費が下がるような取り組みをしていただきたい！

この食のしあわせプロジェクトに野菜を出してる生産者曰く、「納入する野菜の単価は、市場に納めるのと同じ半値でしか買ってはもらえない割に要求レベルは高く、面倒くさく、野菜を納入するメリットはない」と聞きました。改善を求めたところ、「今まで中間業者がとっていた手数料は、市が払う」との返答がもらえました。



目には若葉、本当にさわやかな季節になりました。私は、3期目の10年目最後となる予算議会(2月議会)を終えました。新型コロナウイルス感染症は5月8日に、季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行します。これまでと対策が大きく変わり、これからの生活がどのように変化するかはまだ手探りです。ただ、自分を守るのは自分だけと、しっかり上手に付き合っていきたいと思います。今議会は、一年の予算を審議する大切な議会です。予算につきましては、後ほど説明させていただきますので、お読みください。今後も、しっかり取り組んでまいります。皆さまには本当にいつも、温かく見守っていただき、そして励ましていただき本当にありがとうございます。

私はいつも、皆さまの声を市政に届けていきたい、その思いでいます。その思いは、今もこれからも変わることはありません。引き続き力強いご支援の程、よろしく申し上げます。

地元【油杉お大師堂】



今回の私の一般質問は

1. 子育て支援について 2. 海外支援金について 3. 食のしあわせプロジェクトについて
を取り上げさせていただきました。



やっと願いがかないました!!

土師交差点に、矢印信号が付きまして。

この西大寺備前線と飯井宿線との交差点の信号機は時差式信号機でした。

時差式で交差点内で右折を待っている間もひっきりなしに直進車が通行し、右折できないまま反対側の直進が始まる状況に度々陥ってしまっていました。

市民から、交差点の中に取り残されて危険だからなんとかならないかという度重なる声に、5年以上前から右折矢印が出る信号機に替えて欲しいとお願いを続けていました。

なかなか願いがかなわないので、昨年1月瀬戸内警察署長宛の要望書を提出しました。

どれが功を奏したのかはわかりませんが、矢印信号に変わりました。

嬉しい、本当に嬉しい、もうすでに、ありがとうの声も届いています。

次は、南北道の長船出口の信号だ！頑張るぞ！



令和5年4月17日発行
発行責任者 瀬戸内市議会議員

くさか としこ

〒701-4273

瀬戸内市長船町磯上 569

TEL/FAX 0869-26-6420

携帯 TEL 090-5702-8336

ホームページ

<http://www.kusaka-toshiko.jp/>



一般質問

2. 海外支援金について

瀬戸内市は、今年はふるさと納税に返礼品を返し、残ったお金をUHNCRを通して海外支援します。昨年は反対したのは、私と八日市の竹原議員の二人だけでしたが、今年は仲間が増え長浜の原野議員と鹿忍の木下議員が修正案を提出してくれました。今回も昨年以上に、そのやり方についてどうしても納得が出来ません。このおかしな寄附を続ける限り、反対したいと思います。みなさんの意見も、どうぞお聞かせください。

くさかとしこの主張 ♡

海外支援金には、3点の理由で反対です。

①つめに、今回のやり方です。

瀬戸内市は、ふるさと納税制度を活用して、ウクライナをはじめとする世界各地の難民支援のために国連UHNCR協会を通じてUHNCRに寄附します。

ふるさと納税とは、「生まれ育ったふるさとに貢献する」、「応援する自治体を選ぶ」ことです。本来は、市民に周知し、市営施設の複数個所に募金箱を設置し、市民と気持ちを一つにして、協力してお金を集め、そのお金を寄附する。それこそが、本来のやり方ではないでしょうか。令和4年4月25日、国会で立憲民主党の古賀之士参議院議員が行政監視委員会で質問されています。ふるさと納税制度の本来の趣旨にどこまで合致しているのかと疑問を投げかけられています。このことでわかるように、国会で問題になるようなやり方だということです。アウトではないのはわかりますが、これはかぎりなくグレーだということも明らかです。

②つめは、この支援金をずっと続けるということです。

このかぎりなくグレーなやり方をずっと続け、瀬戸内市はふるさと納税で返礼品を返し、残った寄付金を海外に寄附している自治体として日本中にその名前が知れ渡るわけです。瀬戸内市は、頑張っている市町村なのに、その頑張りではなくこんなことで有名になることは我慢できません。

③つ目は、とうてい市民の理解がえられないのではないかとということです。

私たち議員は、市民の声の代弁者です。市民の声を行政に届けるのが仕事です。

同世代の友達に聞いても、地域のお年寄りに聞いても寄附を寄附することに理解は得られませんでした。二元代表制の議会で、議会が認めたら市民が認めたことになるのですが、やはり市民の声を無視することはできないと判断しました。寄附金は、個人の自由な意思の上に成り立つものであり、反対の声があれば成立しないものと考えます。

同じ議案に対し、予算委員会と本会議で、どうしてこうまで賛否が変わるのか不思議で仕方ありません。

令和5年第1回(2月)定例会 賛否の公表

議案名	議決年月日	採決結果	議決結果																		
			かなえの会	瀬戸内市議団	日本共産党瀬戸内市議団	公明党瀬戸内市議団	創流クラブ	瀬戸内市民の会	新風												
			秦井誠司	成本崇	高原舞	厚東晃央	島津幸枝	河本裕志	川勝浩子	竹原幹	日下俊子	小野田光	原野健一	平原順二	木下公文	室崎陸海	廣田均	小谷和志	石原芳高	岩田恵一	
議案第18号令和4年度一般会計補正予算 UHNCRの海外支援を削除する修正案	予算委員会	R5.2.24	原案可決	●	●	●	○	欠	●	●	○	○	○	○	○	○	●	—	—	●	○
議案第18号令和4年度一般会計補正予算 UHNCRの海外支援を削除する修正案	本会議	R5.3.6	原案可決	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●	●	●

○:賛成 ●:反対 欠:欠席 —:議長・予算委員長は議決に加わりません

【くさかとしこ】が見た瀬戸内市の行政！

それでは、行政報告をさせていただきます。当初予算を家計簿になぞらえて、わかりやすく説明したいと思います。

瀬戸内市の家計簿！ (一般会計)	一般会計：230.4億円 ~合併後最大規模予算 7.5億貯金繰入~ 特別・事業会計：175.2億円
----------------------------	---



今年の地方交付税は、2.6%増の**48.5億円**。市債が**30.9億円**。そのうち財政調整基金の取り崩しが、**7.5億円**。

今回の予算の中で大きなものは

・JR3駅の整備に	約2億8千万円
・庁舎再編に	約6億2千万円
・火葬場整備に	約7億2千万円
・幼稚園・小中学校整備(長寿命化工事、トイレ洋式化)に	約8億円
・邑久スポーツ公園整備、冒険の森整備に	約9千万円
・子ども医療費無料に	約1億8千万円
・ゆめとびあ長船に子どもパーク整備に	約3千万円
・0・1歳児向け育児用品の購入費助成に	約1千700万円
・備前長船刀剣博物館 駐車場整備に	約1億2千万円
・地域ビジネスセンター整備に	約2千万円
・伝統工芸を活用した備前市連携事業に	約4千万円
・有害鳥獣対策に	約4千万円
・市道開田線(村田製作所から福元)等市道整備に	約8億3千万円
・第2宮下産業団地整備に	約5千万円
・市営住宅整備に	約5千万円
・公共交通(既存6路線+東備バス廃止に伴う市営バス化)に	約1億6千万 etc..

詳細は、議会だより・広報にも記載されていますので、そちらもご覧下さい。

給料	令和4年度		令和5年度	
	基本給(市税)	(億円)	基本給(市税)	(億円)
諸手当(地方交付税など)	56.1(24.9%)	56.6(24.6%)	58.8(26.1%)	61.3(26.6%)
奨学金、助成金(国・県支出金)	35.2(15.6%)	35.4(15.4%)	30.4(13.5%)	30.9(13.4%)
ローンの借入金(市債)	44.6(19.9%)	46.2(20.0%)	225.1億円	230.4億円
パート収入など(その他)				
合計				

支出	令和4年度		令和5年度	
	支出	(億円)	支出	(億円)
家族の医療費、保育料など(扶助費)	29.1(13.0%)	29.1	31.4(13.6%)	31.4
車や家電製品の購入費など(普通建設事業費)	49.1(21.8%)	49.1	47.9(20.8%)	47.9
食費(人件費)	40.1(17.8%)	40.1	40.5(17.6%)	40.5
光熱費、水道代、通信費、家賃など(物件費)	31.9(14.2%)	31.9	31.9(13.8%)	31.9
ローンの返済(公債費)	18.7(8.3%)	18.7	19.1(8.3%)	19.1
子どもへの仕送り(繰入金)	17.8(7.9%)	17.8	18.3(7.9%)	18.3
その他(補助費など、その他)	38.4(17.0%)	38.4	41.3(18.0%)	41.3
合計	225.1億円	225.1	230.4億円	230.4